

長崎警察署協議会令和7年度第1回会議議事概要

日 時	令和7年4月24日（木） 13時30分～15時30分
場 所	長崎警察署講堂
出席者	<p>1 協議会 林田会長 新屋委員 唐島委員 岳野委員 平田委員 松尾佳苗委員 松尾琴美委員 三田村委員</p> <p>2 警察署 山崎署長 相川副署長 杉山刑事生活安全官 杉原警務課長 亀井生活安全課長 犬山地域課長 寺田交通課長</p> <p>3 書記 警務係長</p>
会議の状況	<p>1 提出意見に対する推進状況について 令和6年度第4回定例会における提出意見に対する推進状況について、次のとおり署長から説明があった。 (1) 「卒業シーズンにおける各種青少年対策の推進」について ア 薬物乱用防止教室を実施した。 イ 防犯講話を実施した。 ウ 街頭補導活動を実施した。 (2) 「交流人口増加に伴う警察活動の推進」について ア 雑踏事故等防止対策を実施した。 イ 各種イベントにおける交通対策を実施した。</p> <p>2 令和7年1月から3月までの業務重点推進結果について 次のとおり、署長から説明があった。 (1) 雑踏事故防止対策の推進 前回会議の提出意見に伴う説明に同じ。 (2) 各種犯罪抑止対策の推進 ア 防犯キャンペーンへの参加 イ 不審者対応訓練の実施 ウ 声掛け事案等に対する広報、警戒及び行為者特定活動の実施 (3) 事件検挙の推進 ア 生活安全課関係 (ア) 銃砲刀剣類所持等取締法違反被疑者の検挙 (イ) 盗撮事件の検挙状況 イ 刑事第一課関係 (ア) 窃盗事件の検挙状況 (イ) 凶悪・粗暴・性犯罪等事件の検挙状況 ウ 刑事第二課関係 (ア) 知能犯関係事件の検挙状況 (イ) 組織犯罪対策関係事件の検挙状況 エ 交通課関係 (ア) 軽傷ひき逃げ事件の検挙</p>

<p>会議の状況</p>	<p>(イ) 無免許運転及び飲酒運転の検挙状況</p> <p>(4) ニセ電話詐欺対策の推進（被害防止・検挙）</p> <p>ア 被害防止</p> <p>(ア) 年金支給日キャンペーンの実施</p> <p>(イ) 証券会社における被害防止対策講話の実施</p> <p>(ウ) 自動通話録音（警告）機（通称「撃退機」）の設置</p> <p>(エ) 被害防止功労者に対する署長感謝状の贈呈</p> <p>イ 検挙状況</p> <p>(5) 総合的な交通事故抑止対策の推進</p> <p>ア 事業所等における交通安全講話の実施</p> <p>イ 交通事故抑止に資する交通指導取締りの実施</p> <p>ウ 横断歩行者（通学路・生活道路）に係る交通安全対策の実施</p> <p>エ 極寒期における交通対策（雪氷対策）の実施</p> <p>3 業務重点推進計画について</p> <p>次のとおり、署長から説明があった。</p> <p>(1) 市民が安全で安心して暮らせる犯罪の起きにくい社会づくりの推進</p> <p>(2) 事件検挙の推進</p> <p>(3) ニセ電話詐欺等対策（被害防止・検挙）の推進</p> <p>(4) 総合的な交通事故抑止対策の推進</p> <p>(5) 梅雨期に伴う災害警備諸対策の推進</p>
<p>提出意見</p>	<p>1 梅雨時期における交通事故抑止対策の推進</p> <p>特に暴走行為を行う二輪車は人を巻き込む事故を発生させる危険性も高いことから、今まで以上に取締りを強化してもらいたい。また、横断歩道での一時停止など交通マナーアップの指導も推進してもらいたい。</p> <p>2 少年補導の強化と見守り活動の推進</p> <p>犯罪やトラブルの低年齢化も危惧されていることから、少年補導活動を強化してもらいたい。また、少年を取り巻く状況への見守り活動も推進してもらいたい。</p>